

平成28年度 ニシン漁獲物調査速報(9)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月23日朝の東しゃこたん漁協(古平地区)荷受け分の漁獲物測定調査を実施しましたので、結果を報告します。東しゃこたん漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

この日も15入主体となっており、漁獲物の平均体重は326gと序盤に比べると小さくなったものの比較的大型主体で続いています。

2. メスの完熟率(表1)

30尾測定のうちメスは14尾で、そのうち12尾はほぼ完熟状態にありました。湾奥沿岸に入ってくれば、さほど日数を経ることなく産卵が進むのではないかと思います。ヌケはあまり見られていないとのことでした。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長組成は相変わらず5年魚(2012年級)主体で、その割合は全体の77%、次いで33%が4年魚(2013年級)で、当地での前回調査(2月10日:速報6)と傾向的には同じでした。現在は4年魚も5年魚も大方は湾奥に入っている状況とみられますが、4年魚より5年魚の方が資源量をはるかに多いため、5年魚のうち相対的に成熟の遅かったものがまだ沖合深みに残っていることで、前回調査より5年魚の比率が高くなっている状況と思われます。3年魚については当地の漁獲物にはみられていませんでした。

銘柄	15入	18入	合計
漁獲重量kg(23日荷受分)	557.97	0.00	558.0
漁獲尾数	1,710		1,710
測定尾数	30		30
測定尾数(精密)	30		30
平均尾叉長(mm)	298		297.7
平均体重(g)	326		326.3
雌の比率	0.47		—
完熟率*	0.86		—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

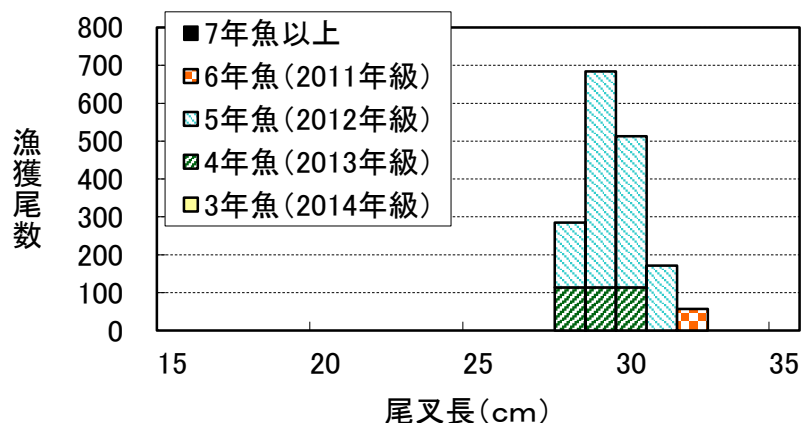


図1 2017年2月25日古平地区 年齢別尾叉長組成